

令和七年度入学者選抜試験問題 後期日程 小論文 解答例

設問一

傍線部に「共同体の機能劣化」とある。特に、家族という小さな共同体が機能劣化した要因について、本文の内容を踏まえて一〇〇～一五〇字で説明しなさい。

【解答例】

重化学工業が中心の社会では、主として男性が労働市場に進出し、家庭内で主として女性が無償労働に従事していたが、ポスト工業社会となり、知識集約産業やサービス産業が基軸産業になると、女性も労働市場へ進出するようになり、子どもたちや高齢者のケアに無償労働として従事する者が姿を消したこと。(一四〇字)

設問二

社会保障が現金給付に偏った社会ではどのような問題が生じると考えられるか。おおむね生涯で獲得した賃金(報酬)に比例して年金という現金給付がなされる高齢者の福祉とその家族に及ぶ影響を対象として、四〇〇～五〇〇字で説明しなさい。

【解答例】

高齢者福祉が、年金という現金給付に偏っている社会では、大きく二つの問題が生じると考えられる。第一に、購買力の乏しい高齢者が十分な対人サービスを受けられない。家族や地域社会の相互扶助機能は衰退してしまっているため、高齢者は生活支援サービスの購入により生活補助を受けなければならないが、年金は生涯賃金等に比例するため、生涯賃金の低かった購買力の乏しい高齢者は十分な生活支援サービスが受けられない。第二に、結果として、購買力の乏しい高齢者の生活支援は、その家族が無理をしても担わなければならない。このことは、家庭内での無償労働に足を引っ張られながら労働市場に参加する者を増やすことになるため、高齢化社会ではフル・タイムの労働市場とパート・タイムの労働市場の二極化をさらに促し、パート・タイムの労働市場で苦しむ者が増える。さらに、高齢者の生活支援が現役世代でも担えない場合には、高齢者ケアに年少者が従事するようなヤング・ケアラーが増える可能性もある。このように、社会保障が現金給付に偏っている社会は、格差や不平等をもたらし、個人の生活を脅かすだけではなく社会の存続にも関わる問題を生じさせる。(四九七字)